

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 21 年 10 月 1 日 (2009.10.1)

【公開番号】特開 2007-103368 (P2007-103368A)

【公開日】平成 19 年 4 月 19 日 (2007.4.19)

【年通号数】公開・登録公報 2007-015

【出願番号】特願 2006-271412 (P2006-271412)

【国際特許分類】

H 0 5 B 33/12 (2006.01)

G 0 9 F 9/30 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

H 0 1 L 27/32 (2006.01)

【F I】

H 0 5 B 33/12 B

G 0 9 F 9/30 3 3 8

H 0 5 B 33/14 A

G 0 9 F 9/30 3 6 5 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 8 月 14 日 (2009.8.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ゲート線とデータ線とで区切られ、発光素子とそれに連結されている駆動トランジスタとを各々含む、第 1 画素、第 2 画素、及び第 3 画素を有する有機発光表示装置であり、前記第 1 画素は前記第 2 画素と前記第 3 画素とのいずれよりも発光素子の発光効率が低く、

前記第 1 画素、前記第 2 画素及び前記第 3 画素の各発光素子の面積が実質的に同一であり、

前記第 1 画素は前記第 2 画素または前記第 3 画素より、駆動トランジスタの占める面積の割合が高い有機発光表示装置。

【請求項 2】

前記第 1 画素の駆動トランジスタのチャンネルの配置が、前記第 2 画素と前記第 3 画素とのいずれの駆動トランジスタのチャンネルの配置とも異なる請求項 1 に記載の有機発光表示装置。

【請求項 3】

前記第 1 画素では駆動トランジスタのチャンネルがゲート線と発光素子との間に位置し、前記第 2 画素と前記第 3 画素とでは駆動トランジスタのチャンネルがデータ線と発光素子との間に位置する請求項 2 に記載の有機発光表示装置。

【請求項 4】

前記第 1 画素の駆動トランジスタのチャンネルが蛇行している請求項 1 に記載の有機発光表示装置。

【請求項 5】

前記第 1 画素は前記第 2 画素と前記第 3 画素とのいずれよりも、駆動トランジスタのチャンネル幅が広い請求項 1 から 4 のいずれか 1 つに記載の有機発光表示装置。

**【請求項 6】**

前記第 1 画素、前記第 2 画素及び前記第 3 画素は幅が同一である請求項 1 から 4 のいずれか 1 つに記載の有機発光表示装置。

**【請求項 7】**

前記第 1 画素では発光素子が青色光を放出する請求項 1 から 6 のいずれか 1 つに記載の有機発光表示装置。

**【請求項 8】**

前記第 1 画素、前記第 2 画素及び前記第 3 画素の各駆動トランジスタを構成する半導体为非晶質シリコンを含む請求項 1 から 7 のいずれか 1 つに記載の有機発光表示装置。

**【請求項 9】**

前記第 1 画素、前記第 2 画素及び前記第 3 画素の各々が、ゲート線とデータ線とに連結されているスイッチングトランジスタをさらに含む請求項 1 から 8 のいずれか 1 つに記載の有機発光表示装置。

**【請求項 10】**

前記第 1 画素、前記第 2 画素、及び前記第 3 画素の各々に含まれている発光素子が、  
駆動トランジスタに連結されている画素電極、  
前記画素電極に対向する共通電極、及び、  
前記画素電極と前記共通電極との間に介在し、各画素の発光領域を定める有機発光部材を含む請求項 1 から 9 のいずれか 1 つに記載の有機発光表示装置。